

## 心理学理論と心理的支援

問題 8 試験に失敗したときに生じる原因帰属に関する次の記述のうち、内的帰属の例として適切なものを1つ選びなさい。

- 1 勉強不足に原因がある。
- 2 問題が難しかったことに原因がある。
- 3 電車が遅れ遅刻したことに原因がある。
- 4 運が悪かったことに原因がある。
- 5 教師の指導力不足に原因がある。

問題 9 次の記述のうち、オペラント条件づけにおける正の強化の事例として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 いたずらをしている子どものゲーム機を取り上げたら、いたずらをやめた。
- 2 宿題をやってくるたびに褒めていたら、宿題を忘れずにやってくるようになった。
- 3 授業中、勝手に話をしていた生徒を叱ったら、私語がなくなった。
- 4 好きな曲が流れているテレビCMの商品に好感を持つようになった。
- 5 デイサービスで嫌な思いをした高齢者が、デイサービスを休むようになった。

問題 10 思考や知能に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 拡散的思考とは、問題解決の際に、一つの解答を探索しようとする思考方法である。
- 2 洞察とは、問題解決のための方法を一つひとつ試して、成功する手法を探していく思考方法である。
- 3 知能指数(IQ)は、知能検査から得られる生活年齢と暦年齢の比によって計算される。
- 4 結晶性知能とは、過去の学習や経験を適用して得られた判断力や習慣のことである。
- 5 成人用知能検査であるWAISは、フランスのビネー(Binet, A.)によって開発された。

問題 11 集団における行動に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 社会的ジレンマとは、集団的な討議を行うことによって、より安全志向な結論が得られやすくなることをいう。
- 2 ピグマリオン効果とは、集団において多数派の意見や期待に合わせて、個人の意見や行動が変化することをいう。
- 3 傍観者効果とは、緊急的な援助を必要とする場面であっても、周囲に多くの人がいることによって、援助行動が抑制されることをいう。
- 4 同調とは、他者の存在によって作業の効率が向上することをいう。
- 5 コーシャス・シフトとは、集団のメンバーの多くが個人的利益を追求した行動をとることで、集団全体にとって不利益な結果となることをいう。

問題 12 ピアジェ(Piaget, J.)の認知発達理論に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 体積や量の保存の概念は、感覚運動期に獲得される。
- 2 自己中心的な思考は、形式的操作期の特徴である。
- 3 抽象的な論理的思考は、前操作期に発達する。
- 4 可逆的な操作は、具体的操作期に可能となる。
- 5 対象の永続性は、形式的操作期に獲得される。

問題 13 バーンアウト(燃え尽き症候群)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 対人援助職に生じることは少ない。
- 2 援助対象者一人ひとりの感情に配慮した行動をとりやすくなる。
- 3 極度の身体的疲労は示すが、情緒的問題は少ない。
- 4 個人の能力やスキル不足が主な原因であり、職場環境の影響は小さい。
- 5 仕事に対する個人的達成感の低下が生じる。

問題 14 カウンセリングや心理療法に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 認知行動療法では、クライアントの発言を修正せず全面的に受容することが、クライアントの行動変容を引き起こすと考える。
- 2 社会生活技能訓練(SST)では、ロールプレイなどの技法を用い、対人関係で必要なスキル習得を図る。
- 3 ブリーフセラピーでは、即興劇において、クライアントが役割を演じることによって、課題の解決を図る。
- 4 来談者中心カウンセリングでは、クライアントが事実と違うことを発言した場合、その都度修正しながら話を聞いていく。
- 5 動機づけ面接では、クライアントの変わりたくないという理由を深く掘り下げていくことが行動変容につながると考える。